

“全身管理”できる医師に憧れて

幼い頃、手塚治虫の漫画「ブラック・ジャック」に憧れを抱いていたという荒井医師。患者さんの全身管理を専門とするところや、「手術」という凝縮された時間に集中して患者さんと向き合うところに惹かれ、麻酔科医の道を選びました。

麻酔科医は単に麻酔をかけるだけではありません。術前・術中・術後と患者さんの全身状態を詳細に診察し、あらゆる情報から薬剤の調整を行い、手術がうまく進むようサポートします。以前先輩に言われた『患者さんの命を自分の手の内に持っていると思え』という言葉を胸に、真摯に患者さんと向き合っています。

患者さんに安全安心な手術を！

これまで勤務してきた総合病院では救急医療をはじめ、新生児から90代まで年齢層も幅広く、様々な手術を担当。麻酔科医として20年以上のキャリアを積んできました。「術後の患者さんから、合併症や副作用がなく元気だという報告を受ける時、こちらも嬉しくなります」と語ります。患者さんに安心して手術を受けてもらえるよう、術前や術後にはわかりやすく丁寧に説明することを心がけています。「不安なことがあればいつでも気兼ねなく声をかけてくださいね」というメッセージに、長年の経験で培われた自信と患者さんへの深い思いやりが感じられました。


ON
毎朝恒例！手術前のカンファレンス


OFF
完走後のビールが大好物♪
各地のフルマラソンに参加。富山マラソンは皆勤賞！

つんからつん。 新任医師 特集

「つんからつん」…「次から次へ」という意味の富山弁。
スタッフの素顔を次から次にご紹介していくコーナーです。
今回は、今年４月に着任した新任医師２名をご紹介します。